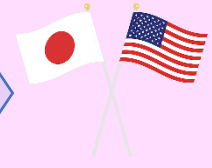




架け橋



令和6年(2024年)6月28日

第10号

校長 小島 昇

土曜日は日本語で学んでいます「今週もがんばったね」

補習校に通う子どもたちは、平日は現地校へ行き英語で学び、土曜日は補習校に来て日本語で学んでいます。土曜日になると朝から補習校に通う、それを毎週続けている子どもたち(と保護者の皆さん)には、下校時に「今週もがんばったね」と声をかけたくになります。

そして、せっかく土曜日にまで学校に来ているので、できるだけ多くのことを学び、吸収してほしいと思います。

今回は、L1校での授業の様子を写真で紹介します。

入学して2か月半が経過した初等部1年生の教室では国語の授業をしていました。教室の前に立ち、一人ずつ自分の好きな動物と好きな理由を発表していました。恥ずかしそうに話す子もいましたが、全員がみんなの前で発表できました。

中等部3年生は数学の時間に因数分解の復習をしていました。現地校で学んだことも生かしながら解法の説明をしようとしていました。数学的な考え方や活動は、現地校でも同じような学習をしていることが想定されますが「展開する」「因数分解する」「代入する」など、日本語でも理解し、説明することで、学んでいることがより確実に身についていくと感じました。

土曜日にも補習校で学び続ける子どもたち(と保護者の皆さん)を応援しています!

「週刊NY生活」硬筆書写コンクール応募

補習授業校だより第4号で呼び掛けた硬筆書写コンクールへの応募に、L1校、W校の初等部1年生から中等部3年生までの33名が挑戦してくれました。提出されたすべての作品を「週刊NY生活」に送付しました。たくさんの応募、ありがとうございました!

